



CASE EXAMPLES

特殊折り加工を強みに、添付文書・取扱説明書の受注拡大

昭和42年創業の株式会社三協印刷は活版からオフセット、オンデマンドへと常に時代に即した印刷技術を構築。企画・デザインからデータ作成、製版、印刷、製本・加工、検査まで一貫体制で幅広い印刷物を手がけている。一方でISO14001取得に加え、岡山市グリーンカンパニー事業所として認定・登録されるなど環境保全に積極的に取り組んでいる。

メーカーからの依頼で取扱説明書の印刷と特殊折り加工に着手。医療機器メーカーからも同様の発注があり、本格的な取り組みを開始した。印刷機や特殊折り機を導入したほか、異物混入を防ぐクリーンルーム（検査室）を設置し、品質管理を徹底した。

添付文書・取扱説明書は、高品位軽量印刷紙（紙厚0.04ミリ）に印刷した後、紙折り機で製品のパッケージに収まるサイズに折り畳んで作られる。紙の性質上、印刷可能な印刷機が限られるうえ、小さく折り畳む（24折り、32折り、48折り、64折りにも及ぶ）印刷と折り加工の技術を併せ持つ印刷会社は全国的にも少ない。

印刷業界が厳しさを増す中、同社では得意分野の特殊折り加工を柱とする事業展開を打ち出した。その際に課題になったのが製品切り替えのたびに発生する折り加工調整時間で生産性が上がらないことだった。その課題を解消すべく、折り加工パターン（種類）が記憶できる全自動紙折り機を導入。折り加工調整時間を短縮することで生産性の向上と受注拡大を目指した。

製品切り替えで生じる
折り加工調整時間を短縮し、
生産性が向上

全自動紙折り機を導入



企業から一言

中四国オンリーワンの特殊折り加工を強みに、受注増と新規開拓を図る

特殊折りの種類は200通り。その加工は機械のみで可能なわけではなく、機械の性能に職人の技術やノウハウを加える必要があります。そうすることで美しさを備えた製品が生まれます。特殊折り加工が必要な添付文書・取扱説明書は今後も残り続ける印刷物。中四国で対応できるのは当社のみで、オンリーワン企業としての強みを持っています。新しい紙折り機の導入で生産性の向上とコスト削減が実現。今後は積極的な営業を展開し、より受注獲得と新規開拓を進めます。

専務取締役 丸山 修二

事業者の概要

事業者名 株式会社三協印刷
代表者名 代表取締役社長 丸山 裕正
設立年月 昭和42年10月
所在地 〒700-0945 岡山県岡山市南区新保107-13
TEL/FAX TEL.086-224-1469 FAX.086-224-2225
URL <http://www.sankyo-p.com/>
資本金額 1,000万円
従業員数 18人
業種 印刷業
事業計画名 薄紙印刷、特殊折り加工技術を極めて、薬品添付文書、小サイズ取扱説明書市場で全国展開へ



導入背景

調整に時間を要し、加工能力に限界

従来の紙折り機は紙質や折り加工が変わるたびに機械の調整が必要で、時間稼働率が低かった。そのため客先のオーダーに対応するために、時間外労働をして対応していた。全自動紙折り機を導入することで生産性を高め、時間外労働も減少し、新たな受注にも取り組みが可能になる。

実施内容

全自動紙折り機を導入

機械の設置に先立ち、床の強度などの調査を実施。結果、追加の補強工事は不要であった。平成27年10月にホリゾン社製の全自動紙折り機と折り丁計数機を本社屋2階に設置した。また高品質でスムーズな折り加工を行うには機械設置場所の湿度コントロールが重要になる。そこで空気清浄型加湿器を自費で導入した。

事業成果

加工の大幅な効率化と受注増を実現

導入した紙折り機の性能は、小物折りや能書折りの作業効率をUPさせ、添付文書作成の場合A3のコロナ33g/m²で最大64折りに対応。一度折り加工パターンを記憶させれば、製品を切り替えても出来栄を確認するだけで生産可能。長時間の折り加工調整は不要。折りのスピードも速くなり大幅な効率化を実現、生産性が1.5倍に向上した。導入後、長年取引のあるメーカーからの受注が増加した。